

様式第 4 のル（第 4 条、第 5 条関係）

（表）

移送取扱所構造設備明細書

事業の概要												
配管の設置	地上設置		有 ・ 無	配管の諸元	溶接	方 法						
	地下設置		有 ・ 無			機 器						
	道路下設置		有 ・ 無				材 料					
	線路下設置		有 ・ 無		伸縮吸収措置の方法							
	河川保全区域内設置		有 ・ 無		防食被覆	塗 装 材	塗装材料					
	海上設置		有 ・ 無				覆装材料					
	海底設置		有 ・ 無			防食被覆の方法						
	道路横断設置		有 ・ 無		電気防食	対地電位平均値						
	線路下横断設置		有 ・ 無			電位測定端子間隔		k m				
	河川等横断設置		有 ・ 無			防 食 の 種 類						
	専用 ^{ずい} 隧道内設置		有 ・ 無		加熱又は加温設備				有 ・ 無			
	不等沈下等のおそれのある場所への設置		有 ・ 無		漏えい拡散防止措置の方法							
	橋への取付け設置		有 ・ 無		運転状態の監視装置				要・不要（有無）			
配管の諸元	配管	延 長	k m	保安設備	配管系の警報装置				要・不要（有無）			
		外 径	mm		安全制御装置				要・不要（有無）			
		厚 さ	mm		圧力安全装置				要・不要（有無）			
		材 料			圧力安全装置の材料							
		条 数	条		漏洩検知装置				要・不要（有無）			
	最大常用圧力	k Pa	漏洩 ^知 装置 ^{検置}		流 量 測 定		秒					
	弁 の 材 料				圧 力 測 定 器 設 置 間 隔		k m					
	管継手	溶接管継手材料			漏洩検知口設置間隔				m			
		フランジ式継手材料			緊急遮断弁				要・不要（有無）			
		絶縁用継手材料			緊急遮断弁設置間隔				k m			

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

(裏)

移送取扱所構造設備明細書

保安設備	危険物除去装置		要・不要（有無）		ポンプ	種類・型式		
	感震装置等		要・不要（有無）			全揚程	m	
	感震装置等	感震装置設置間隔		k m		吐出量	k・/時	
		強震計	設置間隔	k m		基数	基	
	性能							
	通報設備		要・不要（有無）		ポンプ室の構造等	壁		
	警報装置の種類					床		
	化学消防自動車		要・不要（有無）			柱		
	化学消防自動車等	化学消防自動車	台数	台		はり		
			設置場所			屋根		
		巡回監視車	台数	台		窓		
			設置場所			出入口		
		資機材倉庫設置場所				階数		
		資機材置場設置間隔		k m		建築面積	m ²	
	予備動力源の容量					延べ面積	m ²	
	保安用接地		有・無			ピグ取扱い装置		有・無
	標識等	位置標識設置間隔		m		消火設備		
		注意標示設置間隔		m				
		注意標識設置場所						
	その他必要な事項							